

稲田の子

2学期まとめの時期を大切に！

校長 糊澤 実

今年は、11月から度々雪が降り、冬の訪れをしっかりと感じさせてくれていますね。さて、早いもので、平成28年も残すところあと1か月ほどとなりました。

学校では、今後各学年の参観日が実施され、そして、2学期のまとめの時期に入ろうとしております。子どもたちには、この1か月を「2学期の振り返りやまとめ、これからの目標づくり」に生かすため、大切に過ぎてほしいと考えております。

「特別の教科 道徳」について

平成27年3月に（一部改正）告示された小学校学習指導要領により「特別の教科 道徳」が、小学校では平成30年度より、中学校では平成31年度より実施されることになっています。そこで、まずは小学校における道徳の学習内容について、お示しし共通理解を深めたいと思います。

学習する内容項目は、小学校の場合、低学年で19、中学年で20、高学年で22あります。具体的には、次のようなものです。

低学年（19）とは、

A. 自分自身に関する内容として、5つ

善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度、節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志
----------------	-------	-------	-------	---------------

B. 人との関わりに関する内容として、4つ

親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼
---------	----	----	-------

C. 集団や社会との関わりに関する内容として、7つ

規則の尊重	公正、公平、 社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭 生活の充実	よりよい学校生活、 集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国 や郷土を愛する態度	国際理解、 国際親善
-------	----------------	----------	-----------------	----------------------	-------------------------	---------------

D. 生命や自然、崇高なものとの関わりに関する内容として、3つ

生命の尊さ	自然愛護	感動、畏敬の念
-------	------	---------

中学年（20）は、上述低学年の内容にB. 人との関わりに関する内容相互理解、寛容が加わります。

高学年（22）は、中学年の内容にA. 自分自身に関する内容真理の探究と、D. 生命や自然、崇高なものとの関わりに関する内容よりよく生きる喜びが加わります。

これらの内容項目について、今は副読本などを活用し授業を行っていますが、平成30年度からは、文科省の検定を経た教科書をもとに授業が行われることになっています。

本校では、今年度より、「道徳」を研究教科として位置付けています。今後、道徳の取組についても機会をつくりご紹介していきます。

ケータイ教室から

KDDIで専門に全道の小中学校で出前授業を行っている講師の先生をお招きし、3、4年生でケータイ教室が行われました。

映像を活用しながら、ケータイの有効性やその怖さなどを、質問形式や具体的な実例を取り上げながら、分かりやすく説明いただきました。

本校の児童も、ケータイの所持率が高まってきている中、その使い方は家庭と連携した指導が必要です。全市的にはケータイの学校への持ち込みは禁止されているという現状を踏まえ、通信機能でのトラブル等に巻き込まれることがないよう、ご家庭でもルールの確認をお願いします。



職員体育研修から 先生もがんばる

この秋、子どもたちの体力向上の取組の一環で、「プログラム10」の取組が進められ、たくさん子どもたちが楽しく体力づくりに取り組んでくれました。

こうした中、日常的な体育の授業づくりにつながる指導研修が、本校の西山教諭を講師に本校教職員を対象に行われました。

子どもたちの体力向上やけがの防止、回避の意識啓発のよりどころは、学校での指導に負うところが大きいです。引き続き、指導のスキルアップを高めながら、大切な子どもたちの体力向上と健康の保持、また命を守る危険回避能力等を身につける指導を続けていきます。

幼小連携事業 出前学習発表会 帯広の森幼稚園に行ってきました

3月まで本校の校長で、現在帯広の森幼稚園の園長を務められている斉藤昌之氏とのご縁で、今年は幼稚園と小学校の連携した取組をたくさん進められてきました。

過日、子ども同士としては初めてとなる交流、移動学習発表会に本校1年生81名が幼稚園に出向いてくれました。(幼稚園バスでの移動も楽しかったかな) 学校では最も小さい1年生も、自分より年少の子がいる幼稚園に行くと、しっかりお兄さんお姉さんの顔となり、堂々とした演奏、迫力ある歌声を奏でてくれ、意識の高まりを感じさせられました。幼稚園の子どもたちは、「小学生ってすごいなあ、かっこいいなあ、早く小学校に入りたいなあ」そんな憧れの思いを持ち、1年生も学校でもお兄さんお姉さんになっていく意識が高められる機会となりました。

四年アイヌ文化にふれるアプローチ

北海道では、北海道特有の歴史等に関する教育として北方領土の学習やアイヌ文化の学習は大切にされていることがらです。

こうした中、市百年記念館の学芸員さん、また市文化課の職員の方にお越し頂き、アイヌ文化の学習を行いました。

アイヌの人たちの昔の暮らしや狩り(動物を獲る)の方法など、映像を使ってシュミレーションしながら、子どもの興味関心を引きつける学習が進められました。知恵を働かせながら集団で鹿を追い込んで狩りをする様子に、子どもたちも納得の表情を見せていました。

後半は鹿笛をつくる体験学習も行いました。どっぴりアイヌ文化にふれる学習で、子どもたちは満足そうな様子が見られました。

ふれあい美術館 第2弾オープン!



みんなでお昼寝ではありません。指導プログラムの一つから。



小さい子を前にした演奏は、子どもたちの意識も変わるようです。



テンポの良い学習に子どもは引き込まれ、学習を深めました。

大好評のふれあい美術館の第2弾がオープンしました。

今回は、職員玄関内にいつもお花を生けてくださっている松岡さんとのご縁で、MOA美術館作品コンクールで入選した作品の移動展示会です。既に参観日で来校の際などご覧頂いておりますが、本校の子どもたちの作品も展示されています。ぜひ足をお運び下さい。(16日まで)